

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

I 法人の概要（平成 29 年 4 月 1 日現在）

- 所在地 東京都港区虎ノ門 1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル 10 階
- 設立年月日 平成 4 年 12 月 3 日
- 代表者 理事長 加藤 幸男
- 基本財産 基本財産 130,389 千円
基金 7,070,492 千円（本市の出捐金は基金に充当）
- 北九州市の出捐金 30,000 千円（出捐の割合 0.4%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	11 人	0 人	0 人	11 人
常 勤	3 人	0 人	0 人	3 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
職 員	54 人	0 人	0 人	54 人

II 平成 28 年度事業実績

産業廃棄物の処理施設の整備に必要な資金の融通の円滑化、産業廃棄物の処理に係る事業の振興措置及び事業者による産業廃棄物の適正な処理の確保を図るための自主的な活動を推進するため、以下の事業を行った。

I 債務保証事業

産業廃棄物処理施設の整備促進を図るため、産業廃棄物処理のモデルとなる優良な処理施設の整備を進める処理業者などに向けて、必要な資金の借入れに対する債務保証に関する事前調査等を行った。

II 助成事業

資源循環型社会システムの構築に必要な技術開発事業、高度な技術力を利用した施設整備事業及び起業化のための調査事業に対する助成事業について募集をおこなったところ、今期は 7 件（新規事業）の申請があった。

助成事業運営委員会において、申請内容の書類審査及び現地調査を実施して選考を行った結果、以下の 4 件に対する助成を決定した。

[助成対象プロジェクト]

- ・加藤商事株式会社（東京都東村山市） 新規事業
事業名称：製品製造時のプラスチック再生材活用促進事業
助成金額：50 万円
- ・田中石灰工業株式会社（高知県南国市） 新規事業
事業名称：高効率洗浄技術の導入による産業廃棄物低減・品質向上の技術施設
助成金額：500 万円
- ・株式会社パブリック（香川県観音寺市）

事業名称：電池選別機の開発（電池類を形状・サイズ別に分ける選別機の開発）

助成金額：100 万円

- ・株式会社フジゲン（徳島県徳島市）

事業名称：廃乾電池の分別・リサイクルシステムの開発

助成金額：500 万円

III 振興事業

1 産業廃棄物処理業優良化推進事業

平成 23 年度より始まった「優良産廃処理業者認定制度」について、引き続き、産廃情報ネットの情報開示システムを用いた情報開示の普及に取り組んだ。

(1) 全国の優良認定業者数：1,107 業者、許可数：8,287 件

(2) 情報公開に取り組んでいる事業者数：2,308 事業者

(3) 月間アクセス数：49,326 件（平成 29 年 3 月末日現在）

2 人材開発業務

産業廃棄物処理の中核的な担い手となる企業の経営責任者等を対象に、第 13 期となる産業廃棄物処理業経営塾を開催した。産業廃棄物処理業者及び関連企業から 50 名が入塾し、第 1 期からの卒業生は延べ 503 名となっている。

講師陣には、産業廃棄物に関する各分野の最前線で活躍する 27 名の講師を迎え、産業廃棄物関連法制度などに関する基礎的なテーマから処理技術、リスク対応、今後の経営展開の方策など実践的な内容に至るまでの講義に研修合宿・施設見学を加えたカリキュラムを編成し実施した。

3 産業廃棄物処理関連調査

化学物質を含む産業廃棄物の適正処理に関する調査、廃棄物処理法施行調査状況調査、地方公共団体の条例や要綱等による施策の状況把握等を行った。

また、水銀使用製品産業、廃棄物の回収率向上の方策等関連する情報・知見の収集検討並びにその回収促進に協力した。

4 情報提供業務

優良認定制度に関連して、産業廃棄物処理業者が会社情報や許可情報等の情報開示を行うシステム「さんばいくん」、優良認定を取得した優良認定業者が自社のサービスや特徴等を効果的に情報発信する「優良さんばいナビ」の 2 つのシステムについて、その運用と問い合わせ対応を行った。

排出事業者は、「優良さんばいナビ」では、フリーワード検索により優良認定業者の中から委託先候補を容易に検索して会社の特徴を比較吟味でき、「さんばいくん」では、事前にユーザー登録することで排出事業者等のニーズにカスタマイズされた処理業者情報を自動メールで入手することができ、排出事業者の注意義務の履行に有効であることについて普及啓発を行った。

○排出事業者向けサービス：ユーザー登録数：2,781 人

○ナビ利用状況：月間アクセスユーザー：3,272 者

○ページビュー：15,349 件（平成 29 年 3 月末日現在）

5 新規事業開拓関連業務

産廃処理業者に対する経営相談等業務を実施するにあたり、業者のニーズを把握するための訪問調査を行った。（延べ：15 か所）

IV 適正処理推進事業

1 不法投棄等産業廃棄物適正処理推進事業

(1) 廃棄物処理法に基づく産業廃棄物不法投棄等の支障除去等支援事業に対する協力（3/4 支援事業、

7/10 支援事業)

- (2) 産廃特措法に基づく産業廃棄物特定支障除去等支援業務（産廃特措法支援事業）
- (3) 不法投棄防止対策等推進事業

2 PCB等有害廃棄物適正処理推進事業

(1) 環境省PCB関連調査業務

- ① PCB廃棄物処理技術の評価及び基準化
- ② 低濃度PCB廃棄物の適正かつ効率的な処理方策等に関する調査
- ③ 低濃度PCB廃棄物の無害化処理に係る施設の評価
- ④ PCB廃棄物の適正保管・早期処理に関する業務

(2) JESCO（中間貯蔵・環境安全事業㈱）PCB処理関連支援業務

- ① PCB廃棄物処理事業検討委員会関連業務
- ② PCB処理事業環境安全管理対応支援業務
- ③ 処理困難物処理促進検討業務
- ④ 大型機器及び搬出不可機器等処理促進業務
- ⑤ 施設解体撤去支援業務
- ⑥ 使用中安定器等実態把握調査業務

(3) PCB廃棄物適正保管支援業務

(4) 有害廃棄物処理技術に関する調査検討業務

3 災害廃棄物の適正処理検討等業務

東日本大震災によって生じた原子力発電所の事故により発生した、放射性物質に汚染された廃棄物等の中間貯蔵施設の建設及び管理等に関連して、除去土壌等減容化・再生利用技術組合に参画し、組合が環境省より受託した「平成 28 年度除去土壌再生利用実証事業」において、除去土壌等の減容化と再生利用技術に係る検討を行った。

V その他関連業務

1 廃棄物処理センター等全国担当者会議の開催

2 産業廃棄物と環境を考える全国大会の開催

3 普及広報、その他

- (1) 財団ホームページの運用
- (2) 産廃振興財団NEWSの発行等
- (3) 産廃懇話会の開催

Ⅲ 平成 28 年度決算

1 貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	557,858	流動負債	674,709
現金預金	287,554	未払金	659,118
前払金	3,906	預り金	3,218
未収入金	266,098	前受金	1,611
仮払金	300	未払消費税等	10,763
固定資産	7,963,247	固定負債	1,496,420
(基本財産)		保証債務	1,355,184
基本財産引当資産	130,389	長期未払金	5,702
(特定資産)	7,319,405	退職給付引当金	135,534
基金引当資産	6,577,465	負債合計	2,171,130
債務保証積立資産	362,638	正味財産の部	
調査研究等積立資産	243,768	科目	金額
退職給付引当資産	135,534	指定正味財産	7,070,492
(その他固定資産)	513,453	(うち基本財産への充当額)	(130,389)
建物付属設備	41,697	(うち特定資産への充当額)	(6,940,103)
施設等利用権	0	一般正味財産	▲720,517
リース資産	5,702	(うち基本財産への充当額)	(0)
什器備品	10,054	(うち特定資産への充当額)	(243,767)
ソフトウェア	1,726	正味財産合計	6,349,975
保証債務見返	1,355,184	負債及び正味財産合計	8,521,105
債務保証引当金	▲925,899		
求償権	0		
求償権償却引当金	0		
敷金	24,989		
投資有価証券	0		
資産合計	8,521,105		

2 正味財産増減計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科目	金額
(経常増減の部)	
経常収益	1,910,907
経常費用	1,889,394
評価損益等調整前当期経常増減額	21,513
特定資産評価損益等	510
投資有価証券評価損益等	0
当期経常増減額	22,023
(経常外増減の部)	
経常外収益	25,606
経常外費用	9,367
当期経常外増減額	16,239
当期一般正味財産増減額	38,262
一般正味財産期首残高	▲758,779
一般正味財産期末残高	▲720,517
指定正味財産増減の部	
特定資産運用収益	
特定資産受取利息	24,754
受取補助金等	
受取国庫補助金	60,000
受取民間補助金	56,228
基本財産評価益	0
基本財産評価損	12,678
特定資産評価益	20,524
特定資産評価損	93,590
受取国庫補助金返還額	1,150,000
一般正味財産へ振替	924,835
当期指定正味財産増減額	▲2,019,597
指定正味財産期首残高	9,090,089
指定正味財産期末残高	7,070,492
正味財産期末残高	6,349,975

IV 平成 29 年度事業計画

産業廃棄物の処理施設の整備に必要な資金の融通の円滑化、産業廃棄物の処理に係る事業の振興及び事業者による産業廃棄物の適正な処理の確保を図るための自主的な活動を推進するため、下記の事業を行う。

また、本年度は発足 25 年目の節目の年度になることを契機に、これまでの公益事業の拡大に応じた実施体制の見直しとその強化を図り、国、地方公共団体、産業界と連携しつつ、近年の循環型社会の構築と低酸素社会推進のため、今後財団に期待される新規事業の自主的展開を検討する。

I 債務保証事業

1 債務保証の積極対応

産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律に基づく特定施設の整備事業に関する債務保証の申し出に対しては、従来からの方針通り積極的な対応を図る。

2 外部専門家の活用

民間処理業者が行う産業廃棄物処理施設の近代化・高度化等に関わる債務保証の申出に対しては、外部専門家を活用して

①経営及び事業収支性調査、②技術調査、③社会・公共性及び市場調査を実施し、

ア．事業収支計画・返済財源の妥当性

イ．投資規模の妥当性及び金融機関の支援姿勢

など、十分な審査を行うことにより、質の高い産業廃棄物処理施設の建設推進と健全な処理業者の育成に資する運営を行う。

3 債権管理の徹底

既往債務保証先については、営業報告書の分析チェックと計画的に実施するフォロー訪問調査の結果を踏まえて、債権分類の見直しを行い債権管理の徹底を図る。

なお、フォロー訪問調査には、必要に応じて外部専門家に参加を依頼する。

II 助成事業

産業廃棄物の処理に関する新しい技術の開発や技術開発による起業化など、新規事業に努力している産業廃棄物処理業者及び「農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての利用の促進に関する法律」並びに「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に係る認定研究開発事業者に対して、技術開発及び処理技術研究開発による起業化並びに高度技術を利用した減量化・再生処理施設の設置などに必要な資金を助成する。

III 振興事業

1 産業廃棄物処理業優良化推進事業

2 人材開発事業

3 産業廃棄物処理関連調査

IV 適正処理推進事業

1 不法投棄等産業廃棄物適正処理推進等事業

2 P C B 等有害廃棄物適正処理推進事業

3 除去土壌等の減容化・再生利用技術開発検討等業務

V その他共通業務

1 産業廃棄物と環境を考える全国大会の開催

2 廃棄物処理センター等全国担当者会議の開催

3 普及広報、その他

V 平成 29 年度予算

収支予算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目		金 額	
一般正味財産増減の部	(経常増減の部)		
	経常収益		1,287,461
	経常費用		1,314,508
	当期経常増減額		▲27,047
	(経常外増減の部)		
	経常外収益		28,541
	経常外費用		0
	当期経常外増減額		28,541
	当期一般正味財産増減額		1,493
	一般正味財産期首残高		▲735,158
一般正味財産期末残高		▲733,665	
指定正味財産の部	特定資産受取利息		22,725
	受取補助金等		140,000
	受取国庫補助金	60,000	
	受取民間補助金	80,000	
	一般正味財産への振替額		373,347
	当期指定正味財産増減額		▲210,622
	指定正味財産期首残高		7,260,337
	指定正味財産期末残高		7,049,715
正味財産期末残高			6,316,049

VI 役員名簿

平成 29 年 6 月 29 日現在

役 職 名	氏 名	備 考
最 高 顧 問	木 村 康	一般社団法人 日本経済団体連合会 副会長
代表理事理事長	加 藤 幸 男	公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 理事長
専 務 理 事	木 下 正 明	公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
常 務 理 事	今 井 克 一	公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 常務理事
理 事	福 元 治 郎	公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 理事・事務局長
〃	石 井 邦 夫	公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 株式会社 市川環境エンジニアリング 代表取締役
〃	岡 澤 和 好	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 理事長
〃	門 山 泰 明	全国都道府県議会議長会 事務総長
〃	酒 匂 宗 二	一般社団法人 日本鉄鋼連盟 常務理事
〃	安 元 豊	一般社団法人 日本環境衛生施設工業会 副会長 日立造船株式会社 顧問
〃	吉 村 宇 一 郎	石油連盟 常務理事
監 事	佐々木 五 郎	公益社団法人 全国都市清掃会議 専務理事
〃	横 田 勇	静岡県立大学 名誉教授

